



2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 株式会社プレイド 上場取引所 東
 コード番号 4165 URL <https://plaid.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員CEO (氏名) 倉橋 健太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 武藤 健太郎 (TEL) 050 5434 8563
 四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	6,310	16.5	△272	—	△548	—	△591	—	△647	—
2022年9月期第3四半期	5,418	—	—	—	△633	—	△720	—	△676	—

(注) 1. 包括利益 2023年9月期第3四半期 △634百万円(—%) 2022年9月期第3四半期 △699百万円(—%)
 2. 調整後営業利益=営業利益+のれん償却額+株式報酬費用+その他一時費用

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	△16.60	—
2022年9月期第3四半期	△17.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	7,748	4,242	52.3
2022年9月期	7,091	4,070	57.2

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 4,055百万円 2022年9月期 4,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	8,523	16.8	△630	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 調整後営業利益=営業利益+のれん償却額+株式報酬費用+その他一時費用

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期3Q	39,339,617株	2022年9月期	38,606,900株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年9月期3Q	137株	2022年9月期	63株
------------	------	----------	-----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年9月期3Q	39,023,155株	2022年9月期3Q	38,207,281株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「データによって人の価値を最大化する」をミッションに掲げ、世の中に溢れる様々なデータを生活者(注1)にとって価値あるものとして還元し、豊かな体験を流通させることを目的に、当社の提供するCX(注2)(顧客体験)プラットフォーム「KARTE」をウェブサイトやスマートフォンアプリを運営する企業に向けて、クラウド方式(注3)で提供しております。

ショッピングや旅行、金融など様々なサービスがインターネットを介して提供されるようになった今、生活者が企業にもとめることは、「自宅にいながら買い物できる」「予約できる」といった単なる利便性だけではなく、自分の興味や状態に合った最適な提案を受けられる良質なコミュニケーションやその先の体験へとシフトしていると当社グループは考えております。

一方で、企業がそれに応えるためには、データの蓄積、統合、分析を通じて一人ひとりの状態を正しく理解し、それに基づいて適切なコミュニケーションを図る、あるいはウェブサイトやスマートフォンアプリをパーソナライズさせる仕組みを構築する必要がありますが、これらの取り組みは企業にとって複雑で難易度の高いものとなっているのが現状です。

企業は「KARTE」を活用することにより、ウェブサイトやスマートフォンアプリ上のリアルタイム行動データを中心とする様々なデータを、ユーザー単位で解析することができます。それによって、一人ひとりの興味や状態が可視化され、ユーザーをPV(注4)やUU(注5)といった塊の「数字」としてだけではなく、一人の「人」として理解しやすくなると当社グループは考えております。その上で企業は、「KARTE」内で一人ひとりの興味や状態に合わせた多様なコミュニケーション施策を実施し、その結果を検証することなどができます。

顧客体験向上やデータ活用に対する企業の関心が高まる中、「KARTE」はウェブサイトやスマートフォンアプリ上のマーケティング領域に留まらず、カスタマーサポート領域など様々な企業活動において活用いただいております。今後も「KARTE」の機能強化や各種プロダクトの提供を通じて、企業が統合的にユーザーを理解できるデータ環境の拡充を進めていきます。

当第3四半期連結累計期間においては、「KARTE」の販売強化に向けた組織変更や人員増強を行ったほか、更なる事業領域の拡大に向けた取り組みも行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の末日における当社グループのARR(注6)は7,603,077千円となり、同期間の当社グループの経営成績は、売上高は6,310,827千円、営業損失は548,137千円、経常損失は591,745千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は647,921千円となりました。

なお、当社グループはSaaS事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

- (注1) 世の中一般の不特定多数の人々を「生活者」、企業が商品・サービスを提供する相手を「ユーザー」と表記しております。
- (注2) Customer Experience(カスタマーエクスペリエンス)の略語であり、一般的に「顧客体験」と訳されますが、顧客がよいと感じられる体験、つまり「顧客が体験して得られる価値」までも含めて定義しております。
- (注3) クラウドコンピューティングの略語であり、ソフトウェア等のシステムをインターネット経由でサービス提供することを前提とした仕組みの総称であります。
- (注4) Page View(ページビュー)の略語であり、ウェブサイト内の特定ページが開かれた回数を表し、ウェブサイトがどのくらい閲覧されているかを測るための指標の一つです。
- (注5) Unique User(ユニークユーザー)の略語であり、特定の集計期間内にウェブサイト又はスマートフォンアプリに訪問したユーザーの数を表す数値です。
- (注6) Annual Recurring Revenueの略語であり、各期末の月次サブスクリプション売上高を12倍して算出。既存の契約が更新のタイミングで全て更新される前提で、既存の契約のみから、期末月の翌月からの12ヶ月で得られると想定される売上高を表す指標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,621,186千円となり、前連結会計年度末に比べ472,337千円増加いたしました。これは主に売掛金が263,808千円増加及びその他流動資産が322,031千円増加したことによるものであります。固定資産は2,127,468千円となり、前連結会計年度末に比べ185,016千円増加いたしました。これは主にのれんが65,425千円増加及び投資その他の資産に含まれる長期前払費用が138,204千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は7,748,654千円となり、前事業年度末に比べ657,353千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,544,170千円となり、前事業年度末に比べ662,253千円増加いたしました。これは主に契約負債が236,853千円増加及び未払金が412,961千円増加したことによるものであります。固定負債は962,454千円となり、前事業年度末に比べ176,789千円減少いたしました。これは主に長期借入金183,821千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,506,624千円となり、前事業年度末に比べ485,463千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,242,030千円となり、前事業年度末に比べ171,889千円増加いたしました。これは主に資本金の増加255,666千円、資本剰余金の増加379,134千円、非支配株主持分が167,698千円増加した一方、親会社株主に帰属する四半期純損失647,921千円を計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は52.3%(前事業年度末は57.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月8日に公表いたしました2023年9月期の通期連結業績予想につきましては、本日(2023年8月8日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正しておりますのでご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,240,577	4,127,074
受取手形及び売掛金	710,444	974,253
その他	197,826	519,858
流動資産合計	5,148,848	5,621,186
固定資産		
有形固定資産	60,814	68,727
無形固定資産		
のれん	1,444,600	1,510,025
無形固定資産合計	1,444,600	1,510,025
投資その他の資産		
投資有価証券	110,395	64,603
破産更生債権等	—	3,388
繰延税金資産	—	25,148
敷金及び保証金	310,218	305,966
従業員に対する長期貸付金	16,414	4,775
役員に対する長期貸付金	—	10,007
その他	10	138,214
貸倒引当金	—	△3,388
投資その他の資産合計	437,038	548,716
固定資産合計	1,942,452	2,127,468
資産合計	7,091,301	7,748,654
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,632	9,270
短期借入金	200,000	4,162
1年内返済予定の長期借入金	513,076	284,708
未払金	456,581	869,542
未払法人税等	32,272	38,750
契約負債	396,699	633,552
受注損失引当金	9,289	76,210
その他	268,366	627,973
流動負債合計	1,881,916	2,544,170
固定負債		
長期借入金	1,126,438	942,617
繰延税金負債	12,805	19,837
固定負債合計	1,139,243	962,454
負債合計	3,021,160	3,506,624

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,690,028	2,945,695
資本剰余金	4,650,030	5,029,165
利益剰余金	△3,315,980	△3,963,901
自己株式	△228	△279
株主資本合計	4,023,850	4,010,679
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	29,015	44,947
その他の包括利益累計額合計	29,015	44,947
新株予約権	5,718	7,147
非支配株主持分	11,557	179,255
純資産合計	4,070,140	4,242,030
負債純資産合計	7,091,301	7,748,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,418,937	6,310,827
売上原価	1,468,992	1,770,850
売上総利益	3,949,945	4,539,977
販売費及び一般管理費	4,583,852	5,088,115
営業損失(△)	△633,906	△548,137
営業外収益		
受取利息	174	152
助成金収入	661	225
受取手数料	970	223
受取配当金	—	0
その他	337	2,496
営業外収益合計	2,144	3,097
営業外費用		
支払利息	21,105	15,957
為替差損	51,710	11,365
その他	15,621	19,382
営業外費用合計	88,436	46,705
経常損失(△)	△720,199	△591,745
特別損失		
投資有価証券評価損	—	45,791
特別損失合計	—	45,791
税金等調整前四半期純損失(△)	△720,199	△637,536
法人税、住民税及び事業税	3,303	11,996
法人税等調整額	—	1,232
法人税等合計	3,303	13,228
四半期純損失(△)	△723,502	△650,765
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,653	△2,843
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△676,848	△647,921

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△723,502	△650,765
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	24,294	15,932
その他の包括利益合計	24,294	15,932
四半期包括利益	△699,208	△634,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△652,554	△631,989
非支配株主に係る四半期包括利益	△46,653	△2,843

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年11月8日開催の取締役会決議により、2022年12月19日付で執行役員及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行を行いました。また、2023年5月25日開催の取締役会決議により、2023年6月15日付で取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行を行いました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が236,104千円、資本剰余金が236,104千円それぞれ増加しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社エモーションテックが第三者割当増資を実施したこと等により、資本剰余金が123,468千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が2,945,695千円、資本剰余金が5,029,165千円となっております。

(企業結合等関係)

1. 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2022年10月12日に行われたアジト株式会社との企業結合について、第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っておりましたが、当第3四半期連結会計期間に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴うのれんの金額に変動はありません。

発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

202,700千円

(2) 発生原因

主として、アジト社の今後の事業展開によって期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

6年間の均等償却

2. 共通支配下の取引等

子会社株式の追加取得

当社は、2023年5月25日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社エモーションテックが実施する第三者割当増資の一部を引き受けること及び非支配株主から株式取得を行うことを決議し、2023年5月29日及び同年5月30日に払込が完了いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業及び当該事業の内容

結合当事企業の名称：株式会社エモーションテック

事業の内容：顧客体験 (CX) マネジメントクラウド「EmotionTech CX」及び従業員体験 (EX) マネジメントクラウド「EmotionTech EX」の開発・運営

② 企業結合日

2023年5月29日 (非支配株主からの株式取得)

2023年5月30日 (第三者割当増資の引受けによる株式取得)

2023年6月30日 (みなし取得日)

③ 企業結合の法的形式

当社及び当社子会社以外の第三者を引受人とする第三者割当増資及び非支配株主からの株式取得

④ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑤ その他取引の概要に関する事項

株式会社エモーションテックは、2013年3月創業以来、顧客・従業員の声を事業活動に活かすエクスペリエンス・マネジメント（以下、XM）分野において、500社以上の企業を支援してきましたが、サービス開発、組織体制のさらなる強化を目指し、実施したものであります。

当該取引により当社の出資比率は、増資前の64.0%から62.9%となりました。

(2) 追加取得した子会社株式の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価（現金及び預金）	297,375千円
取得原価	297,375千円

(3) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成31年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日）に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

(4) 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

① 資本剰余金の主な変動要因

当社及び当社子会社以外の第三者を引受人とする第三者割当増資及び株式の追加取得による持分変動

② 非支配株主との取引によって増加した資本剰余金の金額

123,468千円